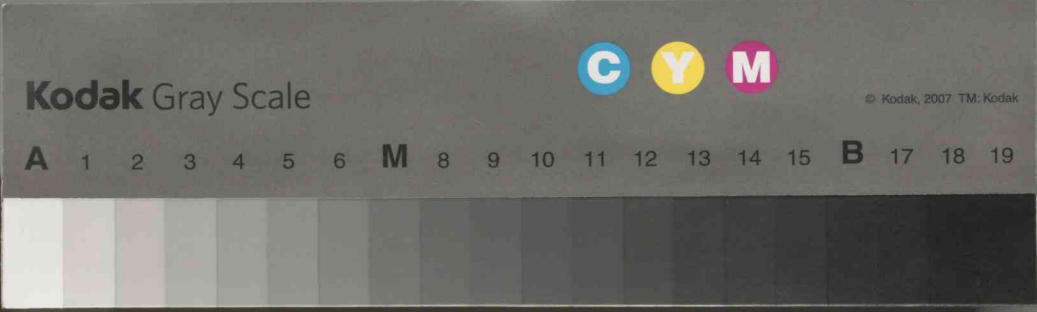


第二十三條ノ規定ニ依ル統制ニ関スル施設ニ違背シタルトキ
 第四章 役員及職員
 第二十六條 本組合ニ理事十名 監事八名ヲ置ク
 理事ハ組合長一名 副組合長一名 支部長八名ヲ互選ス
 第二十七條 組合長ハ組合ノ事務ヲ統括シ 組合ヲ代表ス
 副組合長ハ組合長ヲ補佐シ 組合長事故アルトキハ其職務ヲ代
 理ス
 支部長ハ組合長ノ指揮ヲ受ケ 支部ノ事務ヲ統括シ 支部ヲ代表ス
 理事及監事ハ組合員中ヨリ之ヲ選任ス 但シ 特別ノ事由アルトキハ理
 事ハ組合員ニ非ナル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得
 第二十八條 支部長事故アルトキハ 組合長ノ任命ニ依リ 其職務ヲ代理スル者ヲ定ム
 理事及監事ノ選任及解任ハ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス
 第二十九條 組合員ハ正當ノ事由ナクシテ 理事又ハ監事ノ當選ヲ辞シ又ハ其ノ職ヲ辞
 關スル施設ヲナスモノトス
 組合員ハ總會ノ決議ヲ以テ定ムタル方法ニ依ルニ非ガレバ 其ノ産額ヲ取
 買スルコトヲ得ス
 第三十條 蚕種及養蚕必需品ノ共同購入ハ 豫約ノ方法ニ依ルモノトス 購入
 必需品ノ種類ハ 理事ヲ定ム
 第三十一條 組合員ハ總會ノ決議ヲ以テ定ムタル方法ニ依リ 蚕病又ハ桑樹病虫
 害等ノ豫防 駆除ヲナスコトヲ要ス
 桑樹ノ病害又ハ 病虫害ノ豫防 駆除ニ多ク必要アリト認ムルトキハ 理事
 ハ 夫役ノ現品ノ賦課ヲ爲スコトヲ得
 第三十二條 本規約ニ定ムルモノ、外 本組合ノ行フ 養蚕ニ関スル統制施設ハ 總會
 ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム 但シ 養蚕 蚕業 組合ノ 行フ 養蚕ニ関スル統制
 施設ニ基キ行フ場合ハ 此ノ限リニ在ラズ
 第三十三條 組合長必要アリト認ムルトキハ 組合員ニ對シ 養蚕ニ関スル事項 報告ヲ
 サシムルコトヲ得
 第三十四條 左ノ各野ノ一ニ該當スル者ハ 五円以下ノ違約金ニ處ス
 第一條 第二條 第三條 第四條 第五條 第六條 第七條 第八條 第九條 第十條 第十一條 第十二條 第十三條 第十四條 第十五條 第十六條 第十七條 第十八條 第十九條 第二十條 第二十一條 第二十二條 第二十三條 第二十四條 第二十五條 第二十六條 第二十七條 第二十八條 第二十九條 第三十條 第三十一條 第三十二條 第三十三條 第三十四條 第三十五條 第三十六條 第三十七條 第三十八條 第三十九條 第四十條 第四十一條 第四十二條 第四十三條 第四十四條 第四十五條 第四十六條 第四十七條 第四十八條 第四十九條 第五十條 第五十一條 第五十二條 第五十三條 第五十四條 第五十五條 第五十六條 第五十七條 第五十八條 第五十九條 第六十條 第六十一條 第六十二條 第六十三條 第六十四條 第六十五條 第六十六條 第六十七條 第六十八條 第六十九條 第七十條 第七十一條 第七十二條 第七十三條 第七十四條 第七十五條 第七十六條 第七十七條 第七十八條 第七十九條 第八十條 第八十一條 第八十二條 第八十三條 第八十四條 第八十五條 第八十六條 第八十七條 第八十八條 第八十九條 第九十條 第九十一條 第九十二條 第九十三條 第九十四條 第九十五條 第九十六條 第九十七條 第九十八條 第九十九條 第一百條



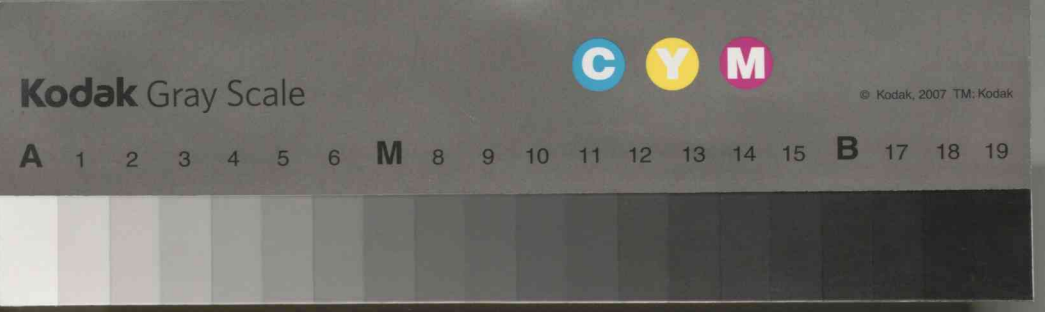


第三十條 理事ノ任期ハ三年監事ノ任事ハ二年トシ選任ノ日ヨリ起算ス
 補選選舉ヨリ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ継承ス
 理事又ハ監事ハ任期満了後ト雖モ後任者ノ就職スルマデ仍其ノ職務
 ラ行フモノトス
 第三十一條 辭任其ノ他ノ事由ヨリ理事又ハ監事ニ關員ヲ生ジタルトキ通常總會
 ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ヲ召集シ補欠
 選舉ヲ爲スモノトス
 第三十二條 總會ヲ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補欠選舉
 ラ爲スコトヲ要ス
 第三十三條 理事又ハ監事ハ名譽職トス
 理事及監事ハ總會ノ決議ヨリ報酬ヲ得又ハ賞典ヲ支給スルコトヲ得
 第三十四條 監事ハ理事又ハ職員ヲ兼ヌルコトヲ得ス
 本組合ニ督勵員ヲ置ク
 督勵員ハ名譽職トシ組合長之ヲ囑託ス
 督勵員ノ組合長ノ指揮ヲ受ケ組合事業執行ノ督勵ニ從事ス

第三十五條 本組合ニ左ノ職置キ置キ組合長及之ヲ任免ス
 一 技手 二 書記
 技手ハ組合長ノ指揮ヲ受ケ技術ニ從事ス
 書記ハ組合長ノ指揮ヲ受ケ事務ニ從事ス
 第三十六條 理事ハ規約 總會ノ決議録 財産目録及 組合員名簿ヲ事務所ニ備
 へ置クベシ

第三章 會議
 第三十七條 總會ハ通常總會及臨時總會トス
 總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス
 通常總會ハ毎年一回二月之ヲ開ク
 臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク
 理事が必要ト認メタルトキ
 監督が組合ノ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不正ノ點アルコトヲ発見シ
 之ヲ報告スルタメ總會ヲ召集ヲ必要ト認メタルトキ
 總組合員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ總會ヲ召集
 ヲ請ホニタルトキ





前項第三號ノ場合ニ於テハ組合長ハ其ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ
之ヲ招集スルコトヲ要ス

第三八條 本規約ニ規定スルモノノ外左ノ事項ハ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

- 一 經費ノ收支豫算
- 二 經費ノ分配收入方法
- 三 借入金
- 四 現約ノ変更
- 五 組合ノ解散
- 六 組合ノ賦課金其他組合ノ請求ヲ滞納者ニ付訴訟提起ヲ關スルコト

第三九條 總會ノ決議ハ本規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者過半數
以テニテ天可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四條 養育ニ關スル統制施設ノ組合員ノ除名ノ役員ノ選任及解任ノ規約ノ
変更及組合ノ解散ノ決議ハ組合員半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上
ノ同意ナルコトヲ要ス

第五條 理事ハ事業報告ノ經費ノ收支決算剩餘金ノ處分及財産目録ヲ通
常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ得ル

第四三條 監事ハ豫メ前項ノ事項ニ付テハ調査シ通常總會ニ報告スベシ

第四四條 總會ハ組合長之ヲ招集ス但第三十七條第四項第二号ノ場合ニ於
テハ監事之ヲ招集ス

第四五條 組合長ハ組合長タルトキハ總會ノ招集ハ其他ノ理事之ヲ行ヒ理事關ケ
タルトキハ監事之ヲ行フ

第四六條 組合長正當ノ事由ナクシテ第三十七條第五項ノ規定ニ依ル招集ヲ
爲サザルトキハ其ノ他ノ理事又ハ監事ハ其ノ總會ヲ招集スベシ

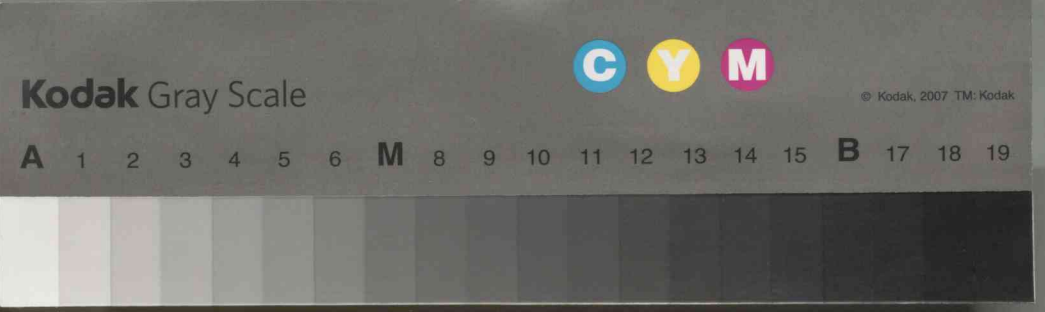
第四七條 總會ノ招集ハ少クとも五日間ニ日時場所及會議ノ目的タル事項ヲ
示シテ組合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第四八條 總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リテ豫メ通知シタル事項ニ付テノ決議
ヲ爲スモノトス但シ緊急ニシテ要スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四九條 總會ノ議長ハ組合長ヲ以テ之ニ充ツ組合長事故アルトキハ副組合長
ヲ以テ組合長及副組合長共ニ事故アル場合ハ理事ノ互選ニ依ル
總會ニ於テ必要ト認メタル時ハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定允コト
ヲ得

第五〇條 組合員ハ他ノ組合員ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ





於テハ之ヲ出席者ト看做ス
 前項委任ヲ受ケタルモハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スベシ
 總會於テ決議録ヲ作り開會ノ日時場所議決シタル事項、組合員數
 出席者、員數其他會議ノ顛末ヲ記載スルコトヲ要ス
 決議録ニ議長出席者二名以上之署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

第廿九條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第六章 會計 資産及損失分担
 第三十條 本組合ノ經費ハ左ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ
 一 組合費
 二 手数料又ハ使用料
 三 補助金又ハ寄附金
 四 雑收入
 第三十一條 組合費ハ左ノ種別ニ依リ組合員之ヲ負擔ス
 一 平等割
 二 生産割
 前項ノ各種別ニ依リ負擔率

第五十條 本組合ニ豫金アリタルトキ郵便貯金トナシ又ハ産業組合中央金庫
 信用組合若ハ總會ノ承認ヲ經タル確實ナル銀行ニ預ケルモトス
 本組合ノ基本金ノ管理ニ付テハ前項ノ規定ニ依リ、外公債ヲ買入ル、
 コトヲ得

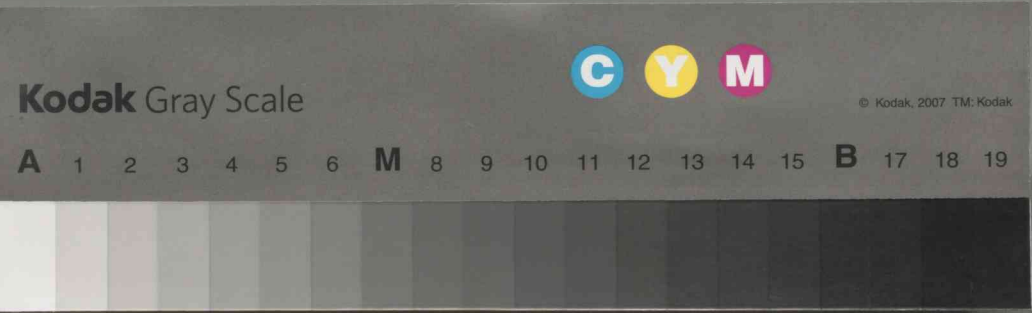
第五十一條 組合財産ヲ以テ組合債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テハ組合員ハ
 最近ノ組合費負担ノ割合ニ應ジテ其債務ヲ負擔スルモノトス

第五十二條 組合財産ノ管理及會計ニ關スル細則ハ總會ノ決議ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第七章 解散
 第五十三條 組合解散シタルトキ埋事清算人トナル
 第五十四條 清算ノ結果生ジタル残余財産最近ノ組合費負担ノ割合ニ應ジ
 各組合員ニ帰屬ス

第八章 附則
 第五十五條 本組合ノ印章左ノ如シ (指畧)





昭和七年四月養蚕実行組合加入者現在数

支部別四月現在組合員数	一支部	二支部	三支部	四支部	五支部	六支部	七支部	八支部
備考計	二七	二二	三〇	五八	二七	二四	一一	二三

昭和五年産出高 (1) 春蚕

養蚕戸数	二二〇戸
蚕種掃立枚数	七八三枚
白繭種	計
黄繭種	計
上繭(生市)	六九〇〇
玉繭(生市)	六三二
屑繭(生市)	二七六
数量	六九〇〇
價額	一〇五六
数量	六三二
價額	一〇五六
数量	二七六
價額	五七九

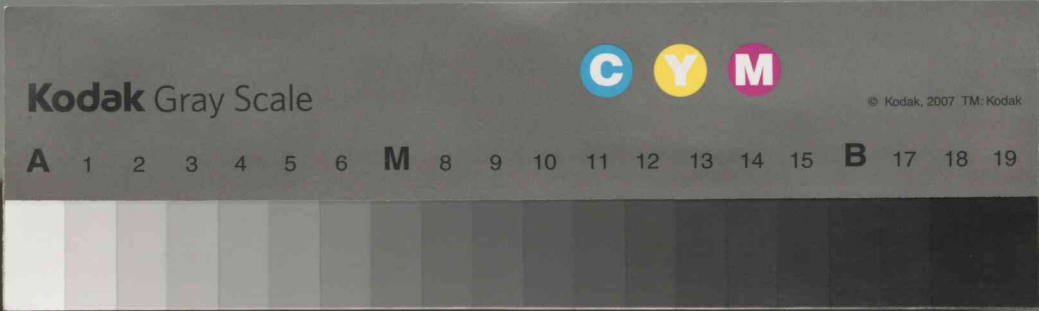
第五六條 本組合設立当時、理事監事ヲ定ムコト左ノ如シ 但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

〇 設立当時ヨリ引續キ現職ニ在ル役員(当時設立者)

理事	古澤傳七	監事	佐藤重一
阿久津平一郎	星野龍吉	佐藤龍吉	
星野鶴造	星野重郎		
佐藤角次	上澤芳房		
神家滿偵三	上澤益次郎		
福田弥一郎	大島角一郎		
大貫康造	酒井永次郎		
大貫三郎	大貫経五郎		
矢野久作	大橋萬一郎		

理事十名 監事八名





沿草

(一) 各種産業團體

A 西大芦村漁業組合

昭和四年九月日本村役場樓上ニ於テ従来ヨリ、漁業関係者並ニ之ガ組合設立ニ賛スルノ同志相寄り遂ニ本組合設立ノ運ビニ至ル 同日、出席者十八名組織當時ノ組合員八拾七名ヲ以テ設立各規約ヲ設テ

昭和五年五月十五日、高等小學校ヲ會場ニ充テ大芦河川區劃漁業ニ關スル協議會開催 昭和五年六月一日行テ漁業検査ノ交付ヲナシ組合漸次整正ヲ

昭和五年四月二十八日、兼テ本村青年團ニ於テ出願中ノ大芦河川區劃漁業並ニ水面使用ノ件ヲ免許セラシ青年團ヲ主體トスル魚類保護蕃殖組合生シ 西大芦村漁業組合トシ連絡協議ヲ因ルバク又本組合モカキ立見ニアリシタメ遂ニ合同協議出テ現在ニ於テハ共通ノ規約統一ナル漁業組合トナル

五 規約

第一章 名稱及組織

第一條 本組合ハ西大芦村漁業組合ト稱シ本村内ニ種漁業免許者ヲ以テ組織ス

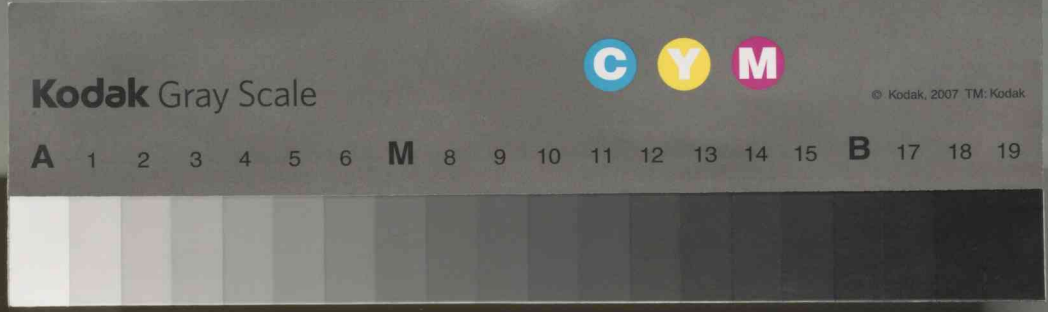
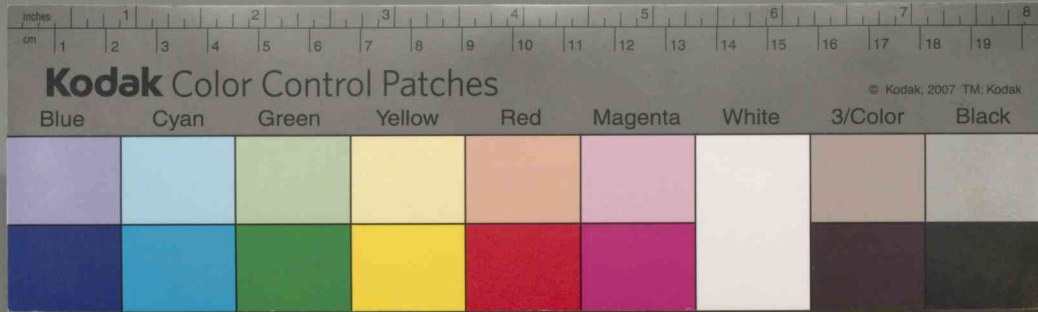
第二條 本組合事務所ハ組合長宅ニ置ク

第二章 目的及事業

本村養蚕実行組合ノ大西ニ付テハ以上ノ如シ

備考	計	備考	計
中戸八上戸ニ算入取扱ヘリ	四〇六七五	中戸八上戸ニ算入取扱ヘリ	七九七九七
養蚕立枚数	六〇三枚	養蚕立枚数	一七九九七
白繭種	一八七戸	黄繭種	一八七戸
上繭(生市)	三三七	上繭(生市)	三三七
玉繭(生市)	四〇五	玉繭(生市)	四〇五
屑繭(生市)	二四三	屑繭(生市)	二四三
計	四〇六七五	計	七九七九七
数量	價額	数量	價額
三三七	一五四六	三三七	一五四六
四〇五	一〇〇	四〇五	一〇〇
二四三	九三	二四三	九三
計	一六〇三枚	計	一六〇三枚
四〇六〇	二六九	四〇六〇	二六九
七八一五		七八一五	





第三條 本組合ハ組合員相互ノ親睦ヲ圖リ福利ヲ増進シ河川魚族ノ保護及蕃殖ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第四條 本組合ハ前條ノ目的ヲ達セシガタメ左ノ事業ヲ行フ

一 組合員ノ新善スハ漁獲止ノ改善ヲ圖ルコト

二 鱒鮎其他ノ河川ニ適セル魚族ノ放魚ヲ行フコト

三 警察官ト協力無免許漁業者及不法漁業者ノ摘発及防止ヲナシ其絶滅ヲ期スルコト

四 法定ノ捕獲期限ヲ尚且ツ如何ナル魚族トモモ産卵期ハ捕獲セラルコト

五 組合員ノ漁獲物販賣價格ノ協定ヲナスコト

六 其他魚族ノ保護及蕃殖ニ関シ必要ナル事項

第五條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長一名 副組合長一名 幹事長一名 幹事若干名
役員職務權限左ノ如シ

一 組合長ハ組合ヲ統轄シ會議ニ際シテハ議長トナル

二 副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アル時ハ之ヲ代理ス

三 幹事長ハ組合長ノ命ヲ受ケ歳務及會計ヲ掌ル

四 幹事ハ組合長ノ諮問並ニ其權限ニ屬スル事項ヲ審議ス

第五條 組合長以下役員ハ組合員總會ノ席上ニ於テ互選シ其ノ任期ハ各々貳年トシ再選ヲ妨ケズ

第六章 會議

第八條 會議ハ役員會及總會ノ二種トシ必要ニ應ジ組合長之ヲ召集ス

第九條 會議ノ方法ハ普通會議ノ法ニ依ル

第六章 經費

第十條 本組合員ハ組合維持ヲタメ毎年一人付金五拾圓ヲ組合費トシテ納入スルシ其徴收ノ方法ハ組合長之ヲ定ム

第十一條 本組合ノ經費ハ毎年豫算ヲ以テ之ヲ定メ總會ノ決議ヲ經テ執行スルモノトス

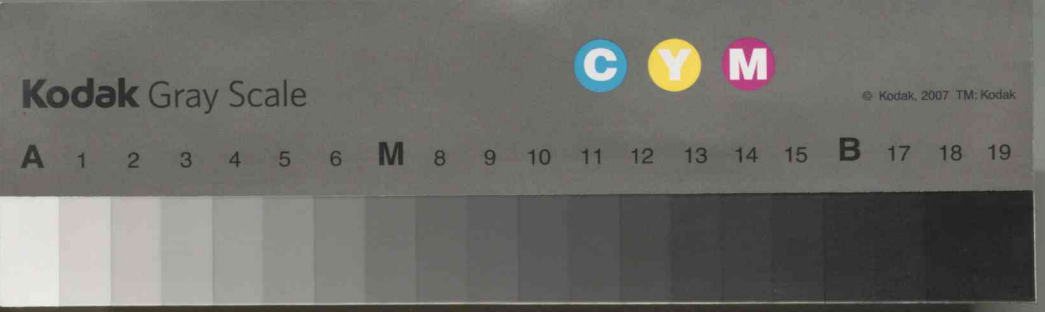
第十二條 會計年度ハ概ノ例ニ依ル

第十三條 新タニ漁業免許ヲ受ケ本組合ニ加名セントスルモノハ加入金壹圓ヲ添ヘ組合長ノ許諾ヲ受クベシ

第十四條 廢業及免許ヲ取り消サレタルハ組合員タルノ資格ヲ失フ

第十五條 組合ヲ脱退セントスルモノハ其ノ事由ヲ具シ組合長ニ届出其ノ許諾ヲ受クベシ





第六條 組合長前條ノ旨出ラセケ其ノ事由復雜セルモノニ限リ役員會又ハ總會ニ諮問ス
 第七條 組合ヲ脱退シタルモノ及免許ヲ取リ消サレタルモノハ加盟金及其他ノ割戻
 第十條 廢業及死亡ニ依ルモノニ対シテハ役員會ニ於テ決議ノ上相當ノ慰勞金又ハ
 第十一條 組合ノ總額ハ總テ組合長ノ名ニ於テ郵便貯金トナシ其ノ通帳ハ組合長ノ保
 第十二條 本規約以外ノ必要ナル事項ハ役員會又ハ總會ノ決議ヲ經テ決定ス
 第十三條 組合員ニテ本規約ヲ無視シ且不法ノ漁獲ヲナシタルモノハ役員會ノ決議ヲ經
 テ除名シ事由ノ如何ニヨリテハ告訴ノ手續ヲナスモノトス

以上

第三 組合設立當時ノ役員
 組合長 福田菅三郎(草久) 幹事長 石原秀吉(上久保)
 副組合長 柴田真一郎(草久) 幹事 渡辺 水(下久保)

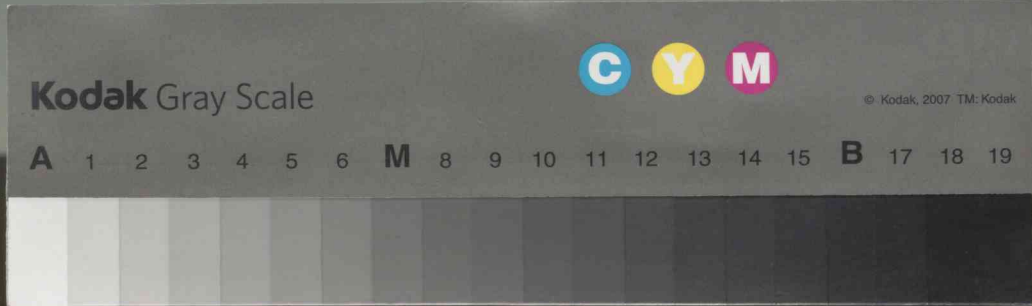
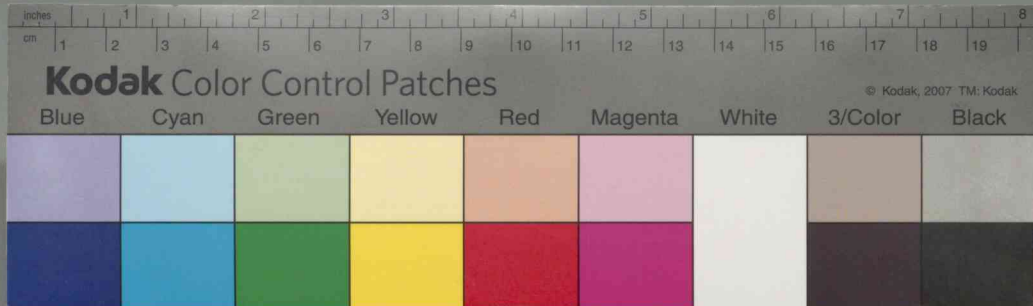
幹事 佐藤角次(草久) 幹事 中里儀一(草久)
 全 上澤幸松(草久) 全 橋本章一(草久)
 全 星野兼作(草久) 全 菊地宗六郎(草久)

備考(一)一般組合員トシテ下久保 榎本太郎外約二十名アリ
 (二)本組合ハ現在青字團ヲ中心トシタル魚類保護蕃殖組合ト融合協調シテ
 共ニ本村漁業ノ發展ニ努カシツ、アリ

I 沿革
 B 大芦川魚類保護蕃殖組合
 昭和四年九月二十四日付ヲ以テ本村青年團長矢島正一氏時、本縣知事原田維織殿
 宛區劃漁業免許願ヲ各關係書類ヲ添ヘ提出之ガ免許ヲ得ル
 昭和五年四月二十日付ヲ以テ願趣本縣知事ヨリ免許サレ尚水面使用上ニ関スル一件
 命令書達セラル
 以後西大芦村魚業組合ト融合ヲ經テ一層本組合ノ内容整備シ 昭和六年度ニ於テ
 ハ、ハ湖産 鮎実數約參千ヲ放流ス

II 當時ノ書類寫





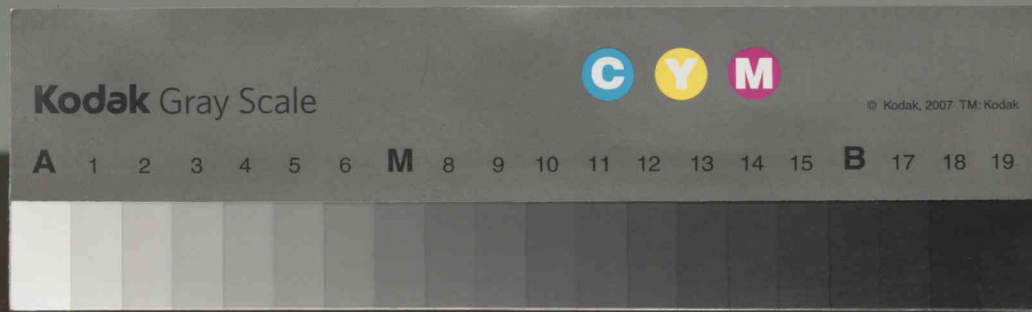
一 區劃漁業免許廢止
 區劃漁業免許廢止
 栃木縣上郡賀郡西大芦村大字草久九百六十番地
 西大芦村青年團代表者 矢島正一

區劃漁業
 漁業種類及名稱 第三種漁業魚類養殖業
 漁場ノ位置
 本流 栃木縣上郡賀郡西大芦村大字草久字横根三千四百五番山林地先ヨリ全村大字下
 大久保字宮内壹番地畑地先ニ至ル大芦川通り水面延長六千四百十間川中四間
 支流 同縣同郡全村大字草久字横根四千四百八番山林地先ヨリ全村字半纏千七百
 五十番畑地先ニ至ル大芦川支流水面延長千三百間川中三間
 全村大字草久字小檜千七百七拾七番畑地先ヨリ全所字小檜千八百二十九番山
 林地先ニ至ル小檜澤水面延長二百三十六間川中二間
 全村全字小川千三百六十三番畑地先ヨリ全所字千三百九十八番畑地先ニ至ル小川水
 面延長貳百間
 全村字八岡九百三十八番畑地先ヨリ全村全所字里入九百八十七番畑地先ニ至ル里入澤

水面延長貳百五十間川中二間
 全村字塩澤百七十番畑地先ヨリ全字二百六十一番畑地先ニ至ル塩沢水面延長
 三百五十間川中二間半
 全村字上久保字神舟貳百二十五番畑地先ヨリ全字上山四百九十七番畑地先ニ至ル
 上山澤水面延長參百間川中二間
 漁獲ノ種類 鮎、鰻、カヅカ、ヤマベ、雜魚、
 漁業時期 毎年 自六月十八日
 至三月十八日
 漁業權存 自昭和五年四月三十日
 至昭和十年四月二十五日
 官有河川 十二町六段一畝歩
 使用反別
 但シ區劃漁業用
 前記漁業免許相成度關係書類相添此段奉候也
 昭和四年九月二十四日
 右 矢島正一

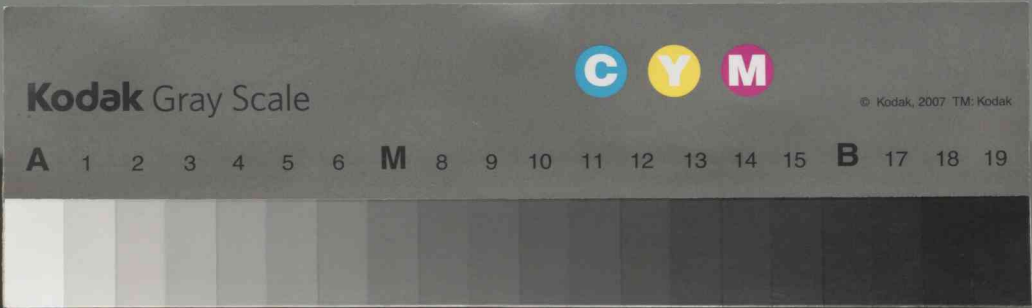
栃木縣知事原田維織殿





二、附屬書類
 (1) 區劃漁業工事設計書
 (2) 經費豫算書
 (3) 漁場図
 (4) 事業計劃書
 (5) 養殖方法書
 (6) 團員名簿
 二通
 二通
 二通
 二通
 二通
 一、區劃漁業工事設計書寫
 區劃漁業工事設計書
 全前省恩答
 全前省恩答
 上郡賀郡西大芦村大字字第九百六十番地
 西大芦村青年團代表者矢島正一
 一、區劃漁業工事
 河川工事不施
 口、經費豫算書寫
 經費豫算書
 參拾円也
 拾四也
 拾四也
 拾五円也
 五円也
 五円也
 貳拾五円也
 計金 壹百円也
 右之通り候也
 昭和四年九月二十四日
 代表者 矢島正一
 鮎購入代
 鮎購入代
 講話會費
 立札拾箇所費
 役員會費
 雜費
 會員及入場者徵費者其他代
 八、漁場図……別紙
 二、事業計劃書寫
 事業計劃書
 上郡賀郡西大芦村大字字第九百六十番地





西大芦村青年團代表者 矢島正一
 本團ハ鮎鱒ヲ購シ之ヲ放養シ其他各種魚族ノ保護ヲシシ團員ノ和衷協同ヨリ
 魚類ノ養殖ヲ図リ延イテハ新業ノ進展ニ伴ヒ成魚ヲ適當ノ時期ニ於テ捕獲
 販賣シ青年團ノ基金造成ニ努メントス

目的
 本團ハ従来ヨリ年々補助ヲ受ケツ、アリタルモ新業ノ進展ニ伴ヒ漸次他ヨリ
 補助又ハ寄附並ニ團員ノ負担等ヲ受クルコトナク小學校經費一部貧困児
 童ノ就學奨勵罹災者ノ救助道路橋梁ノ修理等專ラ補助捻出ニ努イト
 スルモノナリ

本、養殖方法書寫

養殖方法書
 上野賀郡西大芦村大字草久九百六十番地
 西大芦村青年團代表者 矢島正一
 鮎、鱒
 毎年鮎五千匹、鱒一万匹

放養魚ノ種類
 放養魚ノ平均体尺 凡一寸
 給飼ノ有無 無給飼飼養
 捕獲時期 漁業期間中採捕スルモ主トシテ十月下旬
 捕獲方法 投網釣ヲ主トシ其他ハ持罟械ヲ使用ス
 右ノ通り候也

西大芦村青年團員名簿
 團員名簿(寫)(當時ノ主ナル役員ノミヲ記載シ茲ニ般團員ヲ省略ス)

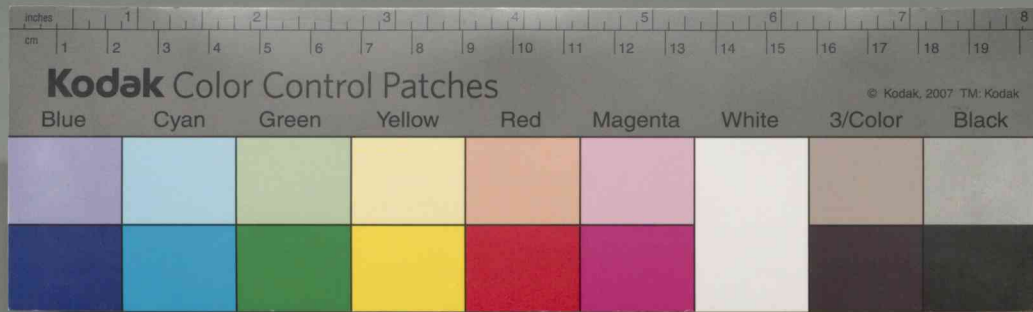
一 團長 矢島正一
 一 副團長 福田弥之吉
 一 各部長三名 常務理事一名 支部長七名 團員(茲ニ氏名省略)

大芦川魚類保護養殖組合ニ付テハ以上ノ附屬書類ト共ニ區劃漁業免許願ヲ提出
 シ其ノ筋ノ許可ヲ仰ガ

昭和五年四月二十八日附ヲ以テ右願ノ件免許サル 免許狀及命令書左ノ如シ

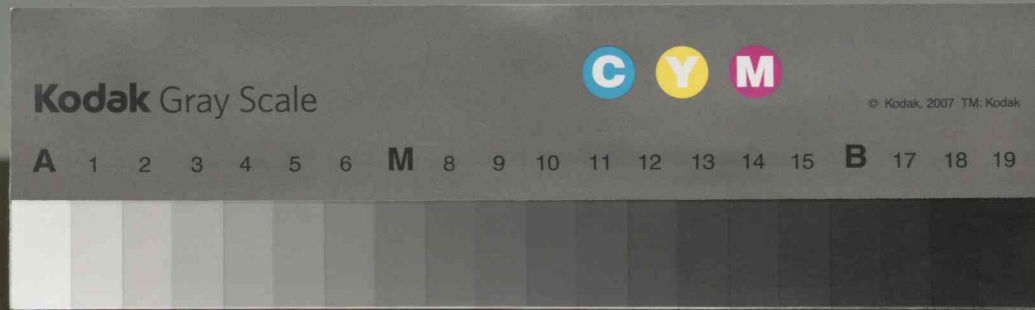
一、免許狀寫





栃木縣指令商第四六二號
 〔主水正經由〕 上都賀郡西大芦村大字草久
 西大芦村青年團
 代表者 矢島正一
 〔委託〕
 昭和四年九月二十四日附願區劃漢業並ニ水面使用ノ件昭和五年四月三十日ヨリ昭和四年四月二十九日迄免許ス
 但シ水面使用ニ付テハ別紙命令書ノ條項ヲ遵守スベシ
 昭和五年四月二十八日
 栃木縣知事 原田維繼
 〔印〕
 命令書寫
 命令書
 西大芦村青年團
 代表者 矢島正一
 使用ノ區域ハ願書ニ添付セル圖面ノ通キトス
 使用ノ目的ハ漢業ノ用ニ供スルモノトス
 第一條 使用ノ期間ハ昭和五年四月三十日ヨリ昭和十年四月二十九日ニ至ル五ヶ年トス
 第二條 使用ノ料ハ無料トス
 第三條 使用ノ個所ニ其ノ區域期間及使用者ノ氏名ヲ記シタル標識ヲ建設スベシ
 第四條 使用ノ權利ハ當聽ノ許可ヲ受クルニ非ラザレバ担保ニ供シスハ他人ニ移スコトヲ得ズ
 第五條 使用ノ目的及方法ヲ變更セントスル時ハ當聽ノ許可ヲ受クベシ
 第六條 左ノ場合ニ於テハ許可ヲ取消シ又ハ其ノ効力ヲ停止若ハ其ノ條件ヲ變更スルコトアルベシ
 第七條 但シ之ガタメ損害ヲ受クルコトアルモ賠償ヲ求ルコトヲ得ズ
 第八條 使用ノ方法ハ公安ヲ害スル虞アルトキ
 第九條 許可後ニ起リタル事項ヨリ必用ヲ生ジタルトキ
 第十條 官廳ニ於テ工事ヲ施行スルタメ必由アルトキ
 第十一條 法律命令ノ施行上必由アルトキ
 第十二條 法律命令ニ違反シタルトキ
 第十三條 本命令書ノ條項又ハ本命令書ニ基テ命令スル事項ニ違反シタルトキ
 第十四條 養殖方法書ニ記載ミタル放魚ヲ実行セザルトキ
 一 二 三 四 五 六 七

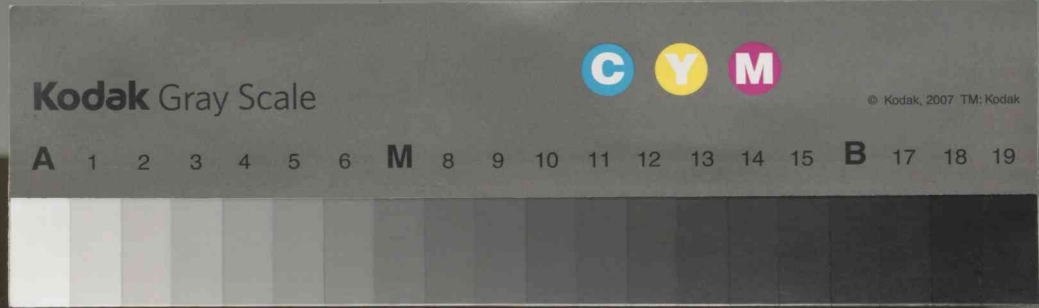
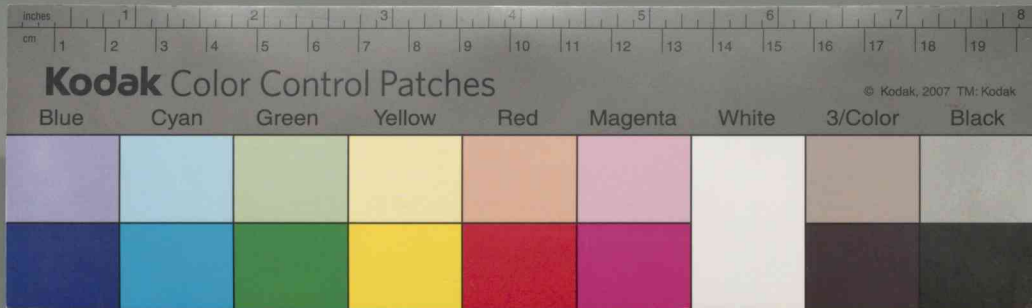




第九條 本命令書ニ依リ使用有ク復行スルヲ裁致シ復行セザルトキハ當廳ニ於テ執
行シ其ノ費用ヲ徵收スルコトアルベシ
第十條 河川ニ何等ノ工事ヲ施設セザルハ勿論官廳又ハ官廳ノ許可ヲ得施行スル事
業ノ爲メ損害ヲ受クルコトアルモ之ガ要領ヲナスコトヲ得ス
區劃魚場地ニ放棄セラ実行セントスルトキハ其ノ都度一週間前ニ縣ニ通知シ
掛管ノ指揮ヲ受クベシ 以上

西大芦村青年團魚類養殖規約
總則
第一條 本團ハ大芦川漁業權ヲ取得シ魚類ヲ養殖保護スルヲ以テ目的トス
第二條 本團ハ大芦川魚類保護養殖組合ト稱ス
第三條 本組合ノ地區ハ大芦川内大芦川本流支流全部ヲ區域トス
第四條 本組合ノ事務所ハ西大芦青年團事務所 当地高等小學校ニ置ク
第五章 組合員ノ加入脱退
第一條 本組合ハ西大芦村青年團員ヲ以テ組織シ區域内ニ住所ヲ有スル漁業者ヲ組
合員トス 其他有志ノ漁獲セントスルモノハ鑑札料其他ノ經費トシテ加入
ニ依ルモノトス
一般會員ニ月五十錢 青年團員一月五十錢 其他町村一日金一円 村内ノモノ
金三十錢 兎立里十六才未満但ニ在塾ア年令者一ヶ月中第一二三日曜日
ニ限リ 魚具ハ縣稅賦課規則ニ依リ漁業ノ種六等ノ一人持器具ニ限リ
但ニ金屬製木ノ筥ハ金參円増トス
火 振リヲ禁ス
第六條 本組合ニ加入セントスルモノハ其ノ住所氏名ヲ記載シタル音面ヲ以テ其ノ旨組合ニ申
込ムベシ
組合前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ名簿ニ住所氏名加入年月日ヲ記シ其ノ旨本
人ニ通知ス 此ノ場合ニ於テノ經費ノ一部ヲ徵收スルコトアルベシ
第七條 組合員其ノ住所ハ氏名ヲ變更シタルトキハ組合ニ申出ツベシ
第八條 組合員退退セントスルモノハ其旨組合ニ申出ツベシ 前項ノ申出アリタルトキハ
組合員名簿ヲ抹消シ且脱退ノ年月日ヲ記載シ置クモノトス
第九條 組合員左ノ事由ニ該當スルトキハ之ヲ除名スルコトアルベシ
組合員其他組合ニ支拂スル金銀ノ支拂ヲ怠リタルトキ
組合ノ業務ヲ妨ケル所爲アリタルトキ



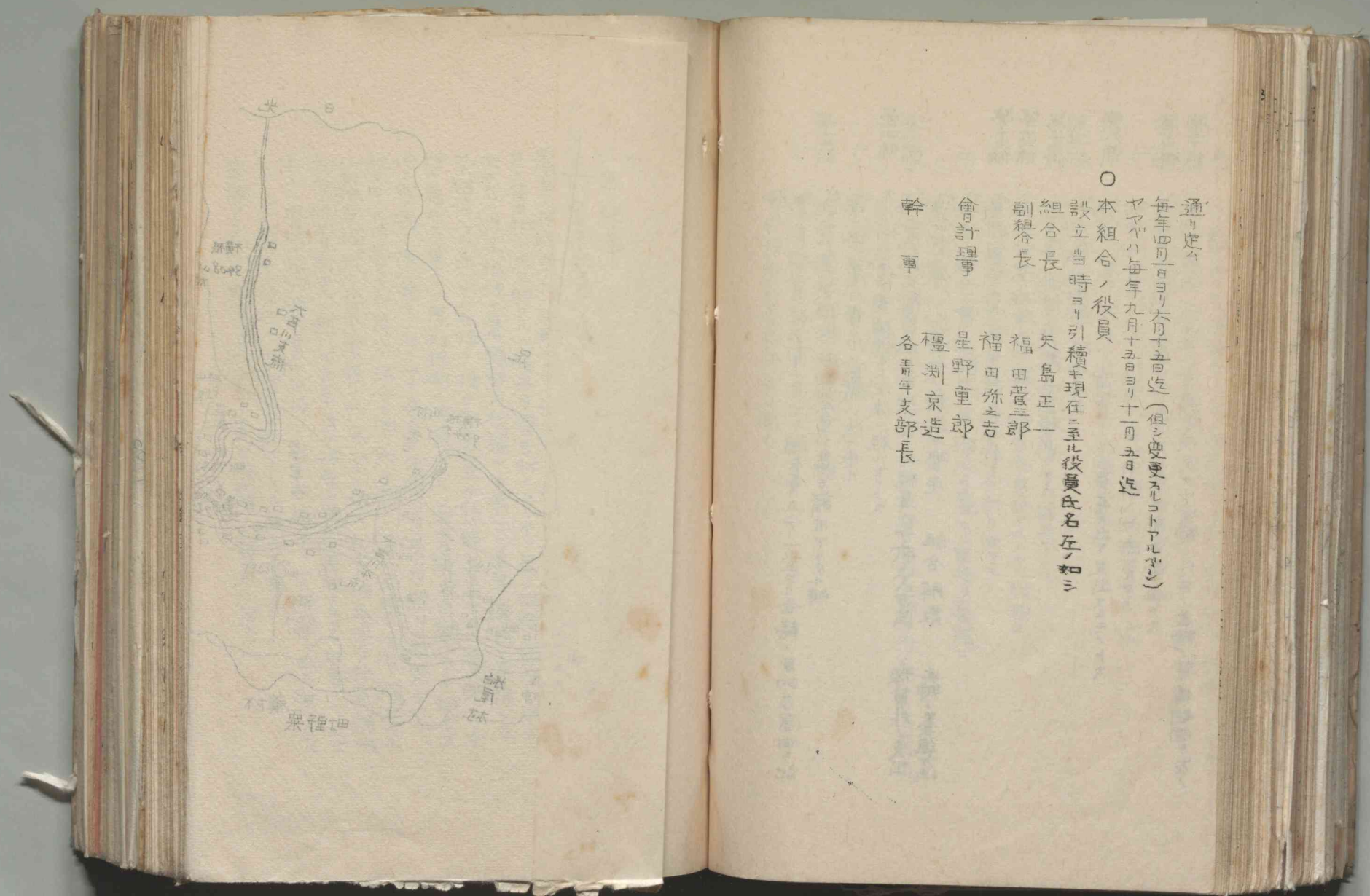
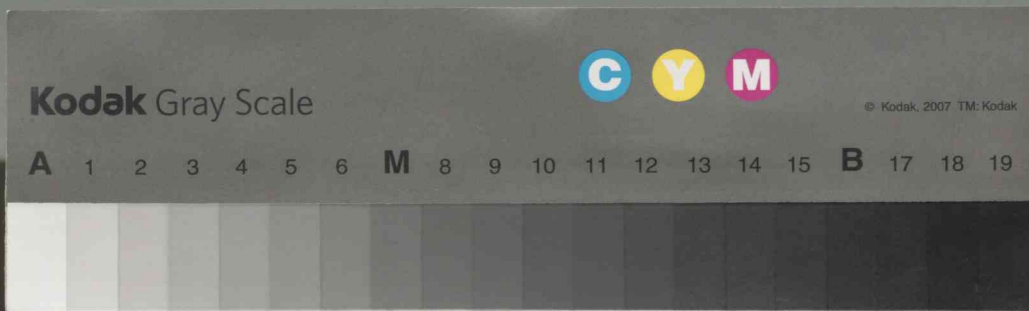


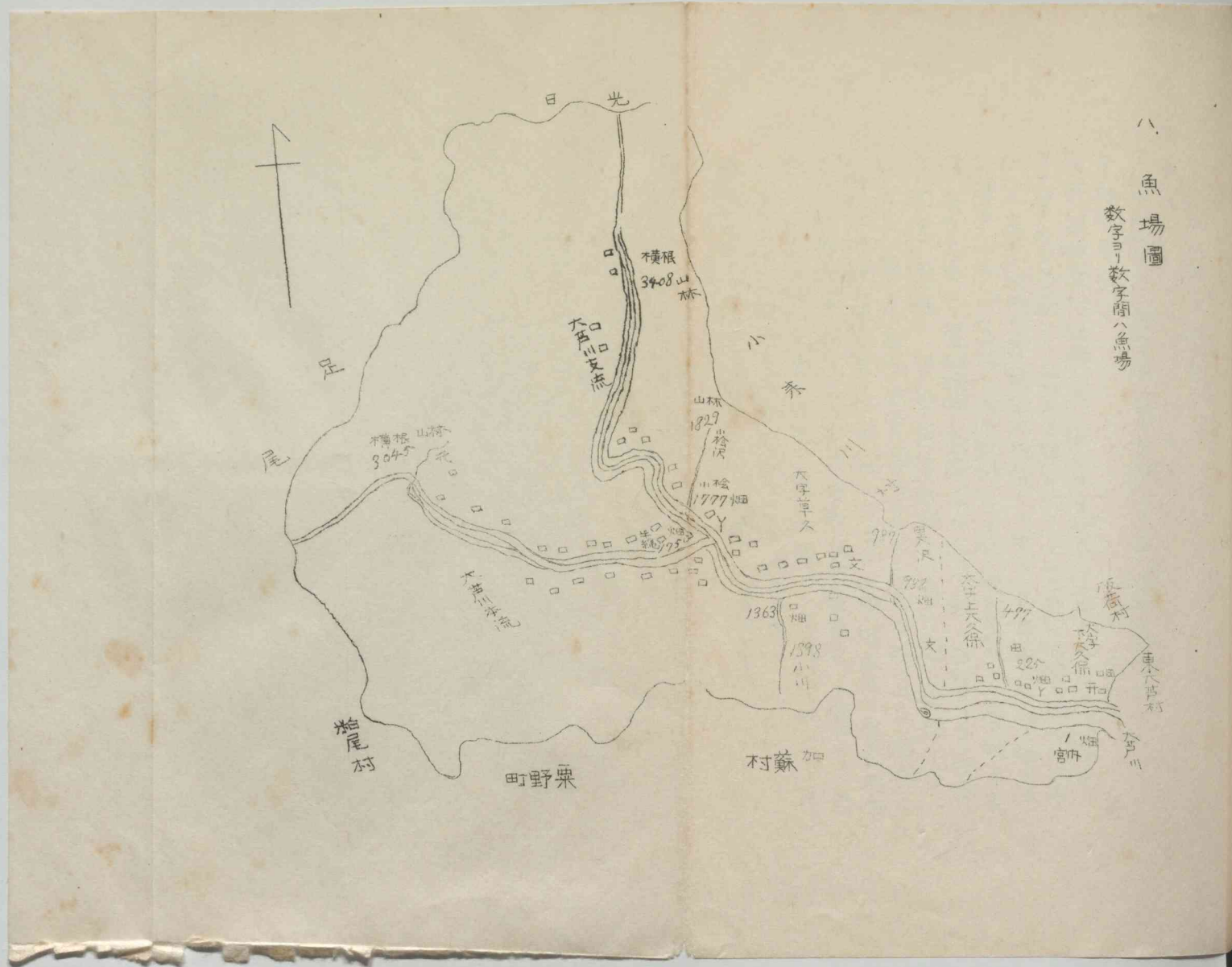
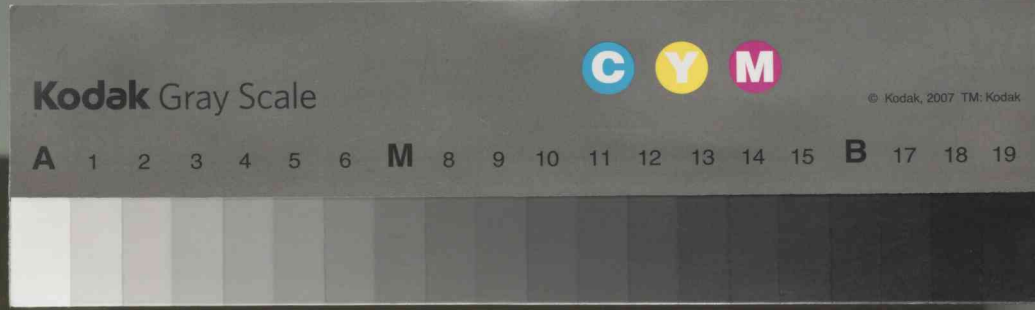
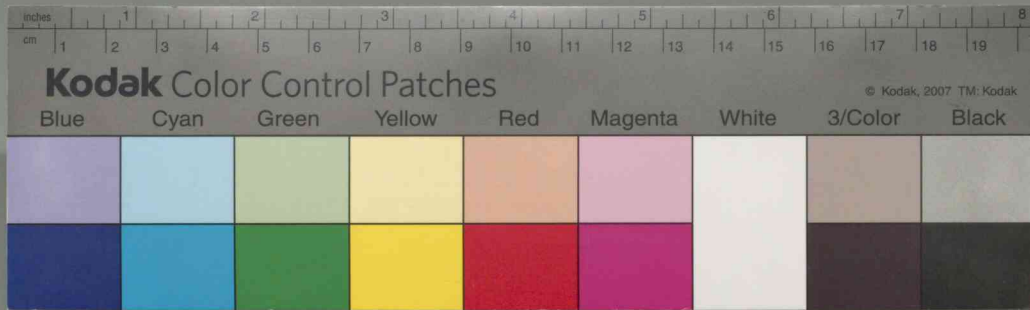
臨時總會ハ在ノ場合ニ之ヲ開ク
組合員五分一以上ヨリ會議ノ目的及事由ヲ記
載ニタル書面ヲ提出シテ總會ノ召集ヲ請ホアリタル時
會議ノ方法ハ普通會議ノ法ニ依ル
左ニ掲ケル事項ハ總會ノ決議ヲ經ルモノトス
經費ノ收支豫算ヲ定メルコト 經費ノ分賦收入方法
組合員ノ加入又ハ除名 規約ノ變更 組合解散
豫算外ノ支出
魚類ノ養殖方法

第二章 會 計
第六條 會計事務ノ理事會計之レヲ行フ
會計年度ハ一般ノ例ニ依ル
第七條 利餘金ハ基本金積立トナス
第七條 施設事業
組合ノ經費ハ總會ノ決議ヨリ左ノ事業ニ之ヲ支出スルモノトス
娛樂的遊藝機關ノ設置 魚族ヲ購ハ放魚スルコト
組合ノ魚類養殖其他ノ費用ハ青年團員負擔トス
魚類養殖保護ノ法令ニ規定アル魚類ノ外左ノ魚類ノ禁食期間ヲ左ノ
第三章 役員並ニ權限
第十條 不正行為ヲ以テ逮捕ヲ受シ又ハ犯罪処分ヲ受ケ組合ノ信譽ヲ毀壞シタルトキ
第三章 役員並ニ權限
本組合ニ在リ役員ヲ置ク
組合長一名 副組合長二名 理事會計二名
幹事五名 監守...團員及組合員
役員ノ職務權限左ノ如シ
組合長ハ組合ヲ統轄シ會議ニ際シテハ議長トナル
副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ代理ス
理事ハ組合長ノ命ヲ受ケ庶務及會計ヲ掌手ル
幹事ハ組合長ノ諮問並ニ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ審議ス
第四章 役員選舉及任期
組合長以下役員ハ組合員總會ニ於テ之ヲ選シ其ノ任期ヲニケ年トシ再選ヲ妨
グス 但シ無報商トス
第五章 會 議
總會ハ通常總會 臨時總會ノ二種トス
通常總會ハ毎年同一月之ヲ開ク

第三章 役員並ニ權限
第十條 不正行為ヲ以テ逮捕ヲ受シ又ハ犯罪処分ヲ受ケ組合ノ信譽ヲ毀壞シタルトキ
第三章 役員並ニ權限
本組合ニ在リ役員ヲ置ク
組合長一名 副組合長二名 理事會計二名
幹事五名 監守...團員及組合員
役員ノ職務權限左ノ如シ
組合長ハ組合ヲ統轄シ會議ニ際シテハ議長トナル
副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ代理ス
理事ハ組合長ノ命ヲ受ケ庶務及會計ヲ掌手ル
幹事ハ組合長ノ諮問並ニ其ノ權限ニ屬スル事項ヲ審議ス
第四章 役員選舉及任期
組合長以下役員ハ組合員總會ニ於テ之ヲ選シ其ノ任期ヲニケ年トシ再選ヲ妨
グス 但シ無報商トス
第五章 會 議
總會ハ通常總會 臨時總會ノ二種トス
通常總會ハ毎年同一月之ヲ開ク

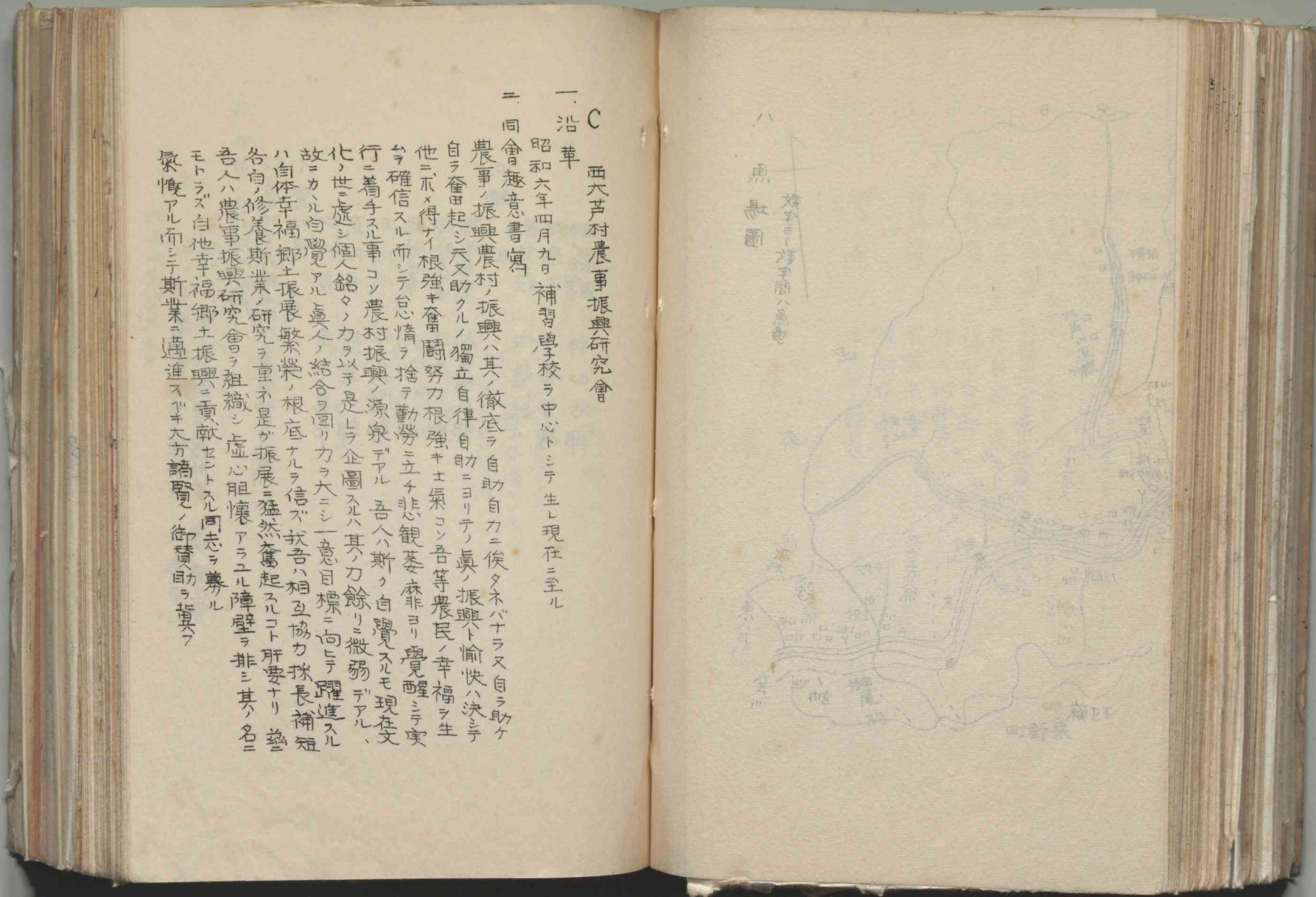
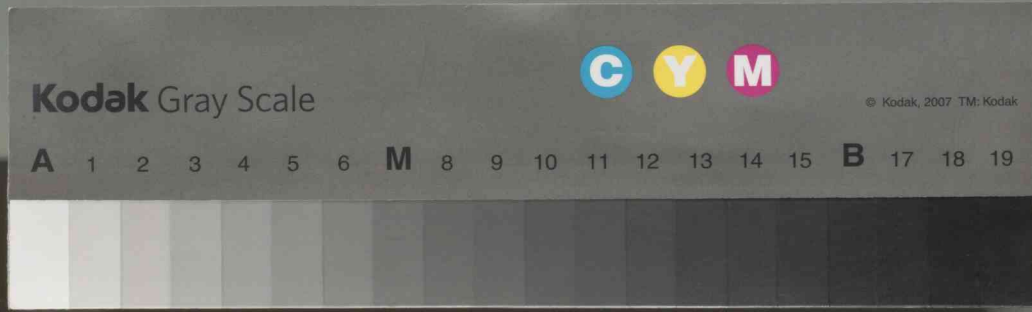






○本組合ノ役員
 設立當時ノ引續キ現在ニ至ル役員氏名左ノ如シ
 組合長 矢島正一
 副組合長 福田重三郎
 星野重吉
 星野重郎
 檀淵京造
 各青年支部長
 幹事



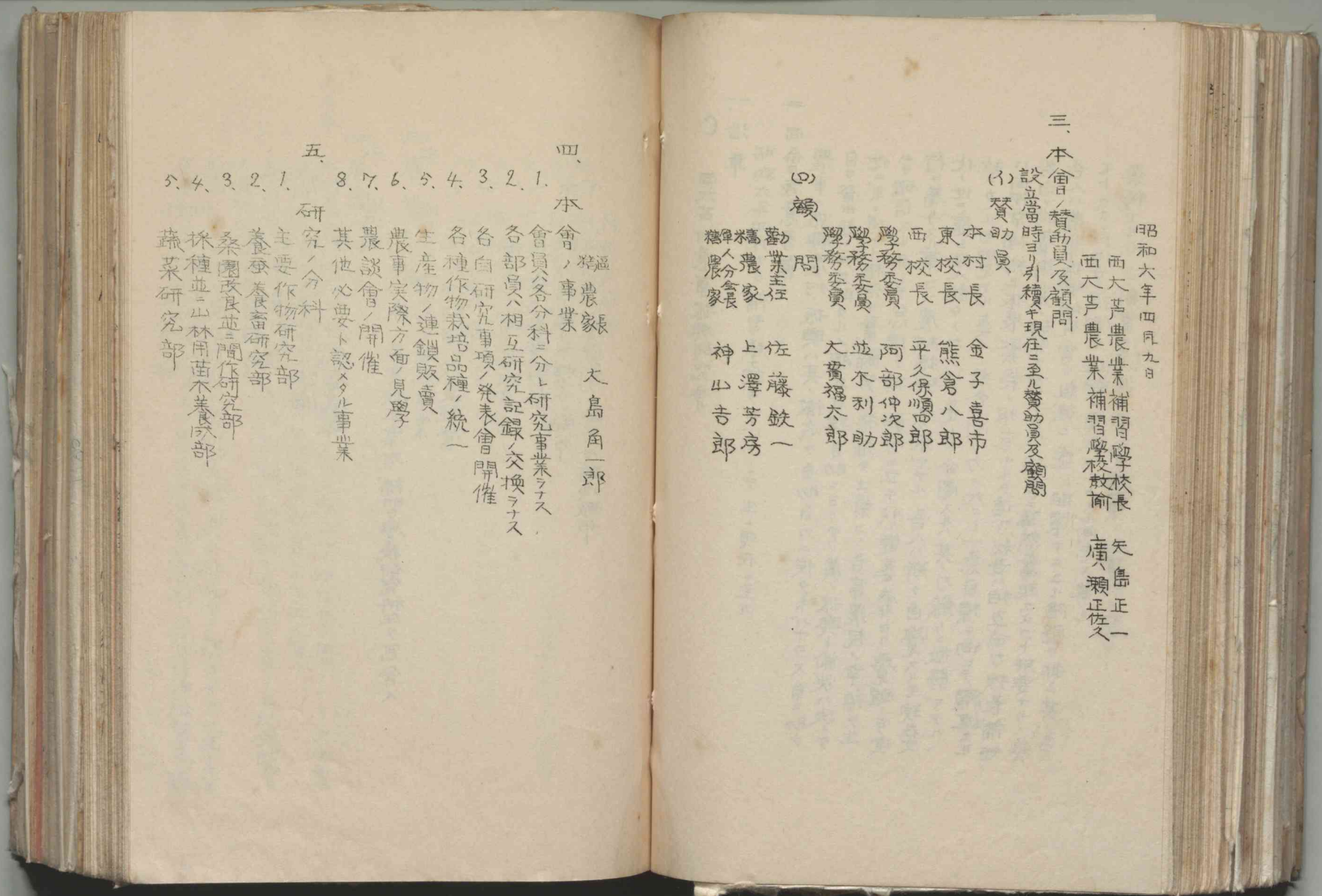
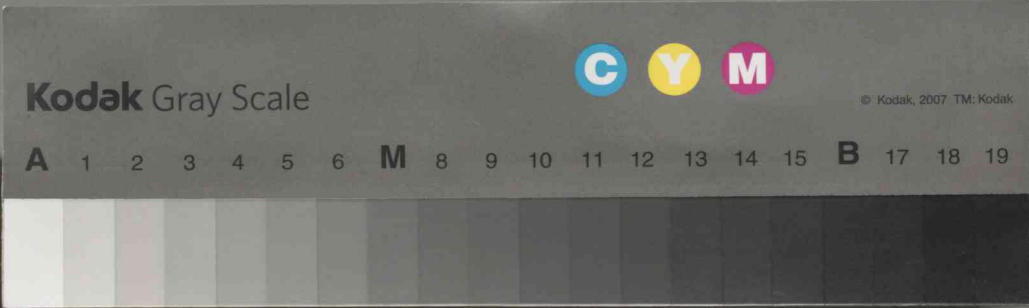
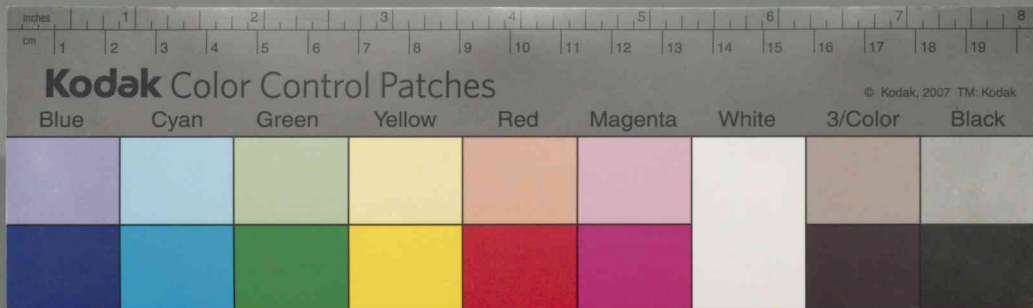


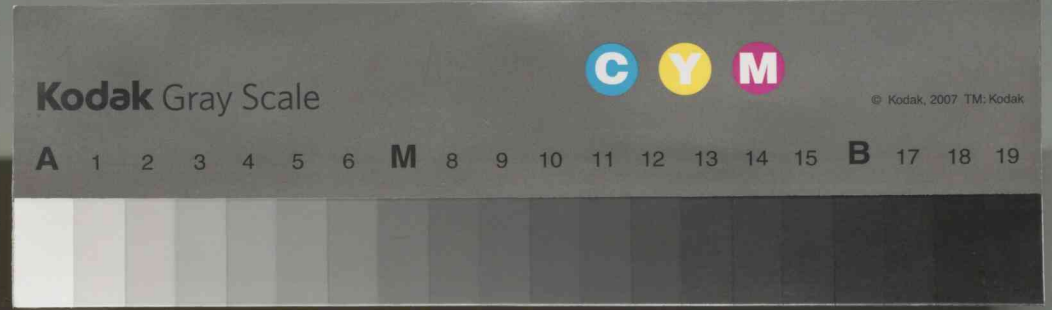
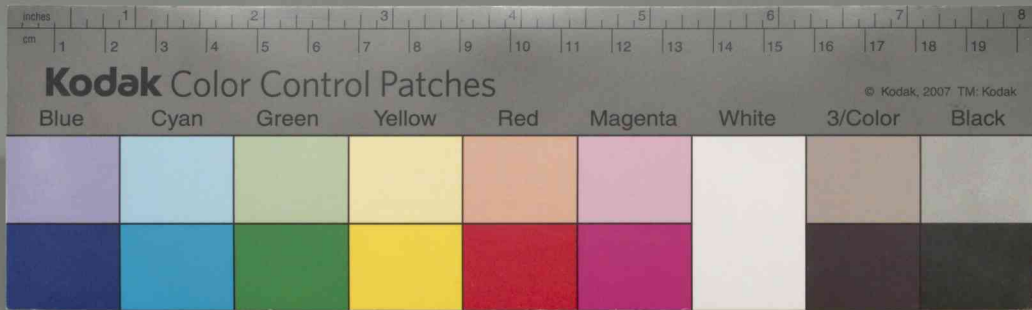
C 西大芦村農事振興研究會

昭和六年四月九日 補習學校ラ中心トシテ生レ現在ニ至ル

一 沿革
二 同會趣意書寫
農事振興農村、振興ハ其徹底ラ自助自カニ俟タネハナラ又自ラ助ケ
自ラ奮起シテ又助ケルノ獨立自律自カニヨリテノ眞ノ振興ト愉快ハ決シテ
他ニホク得ナイ根強キ奮闘努力根強キ土氣コン吾等農民ノ幸福ヲ生
サ確信スル而シテ台心情ヲ捨テ勤勞ニ立チ非ニ觀望非ヨリ覺醒シテ
行ニ着手スル事コソ農村振興ノ源泉ナル 吾人ハ斯ク自覺スルモ現在
化ノ世ニ處シ個人銘々ノカラテ是レヲ企圖スルハ其ノ力餘リニ微弱ナル
故ニカニ自覺アル人ノ結合ヲ図リカラ大ニシ一意目標ニ向ヒテ躍進スル
ハ自體幸福郷土振興繁榮、根底ナルヲ信ガ、我々ハ相互協力採長補短
各自ノ修養斯業ノ研究ヲ重ネ是ガ振興ニ猛然奮起スルコト所要ナリ 茲
吾人ハ農事振興研究會ヲ組織シ志心胆懷アラユル障壁ヲ非シ其ノ名ニ
モトラス自他幸福郷土振興ニ貢獻セントスル同志ヲ募ル
氣慨アル而シテ斯業ニ邁進スルキ大テ諸賢ノ御賛助ヲ俟ツ







A 沿革

(四) 農會及市場

本村農會ハ昭和三年豫算締成ニ當リ廢止サレ現在其儘トナリ之ガ實際指導ト上級機關ト連絡ハ本村役場勸業主任之ニ當ル其ノ沿革大要ヲ觀ルニ其ノ各種記録ハ明治三十九年四月ヨリノ上級機關ト連絡報告物等在リ

大正十一年十二月十四日從前ノ會則變更ノ件本郡長ヨリ認可サレ大正十二年度庶務委員會計細則ヲ始メトシ農會旅費支給規則同職員俸給規定農

(三) 農業倉庫

蔬菜品評會
研究事項交換
毎月農業關係印刷物ノ配布
麥作ノ經濟的競作
果樹接木講習會ノ開催
種子ノ共同購入

六 會員

村內熱心家 農學校卒業者 補習學校研究科生ヲ包含ス
昭和六年度ニ於ケル實施事業
陸稻採種圃ノ設置經營
陸稻種子ノ配布
農事方面ノ見學
蔬菜ノ販賣斡旋
競作用蔬菜種子ノ配布
病虫害防除藥劑ノ配布及露地撒布

(四) (1)

普通栽培部
軟仕促成部
宅地利用部
農産製造部
販賣調査部
農業經營法研究部
草花並ニ庭木養成部





代會議事細則等内部的ニ改善整正備サレ外部のニ之ガ指導上農會農
 區、設置ヲナシ大正十二年一月一日ヨリ之等改善細則ニ依ル實施ヲ圖リ昭
 ニ至リ全三年前記豫算編成ニ當リ廢止ス

B. 當時ノ農會々則

第一條 本會ハ農事ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
 第二條 本會ハ栃不縣上郡賀郡西大芦村農會ト稱ス
 第三條 本會ハ其ノ月のヲ達スルタメ左ノ事業ヲ行フ
 一、 農業ノ指導ヲ獎勵スルニ施設
 二、 農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ関スル施設
 三、 農業ニ関スル研究及調査
 四、 農業ニ関スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 五、 農業ノ利害ニ関スル意見ノ表示
 六、 農業ニ関スル事項ニ付行政廳ハ建議及諮問ニ對シ答申
 七、 其他農業ノ改良發達ニ關シ必要ナル事業

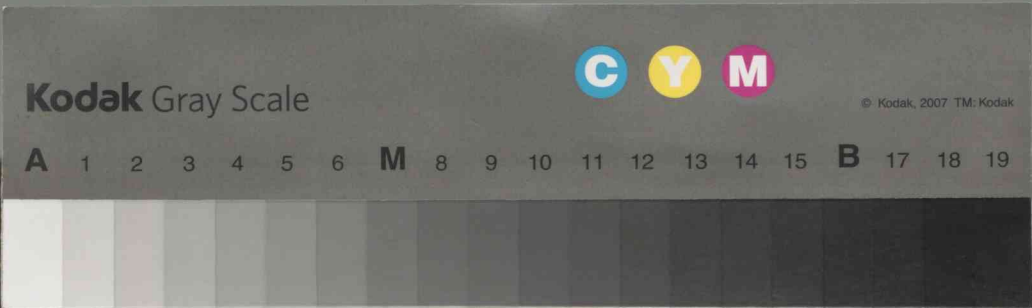
第四條 本會ノ事務所ハ栃不縣上郡賀郡西大芦村大字草久九百六十番地裏ノ
 第五條 本會ノ区域ハ農區ヲ設置ス

第六條 農區ニ關スル細則ハ総代会、議決ヲ經テ別ニ之ヲ定ム
 本會ノ公告ハ左ノ方法ニ依リテ之ヲ行フ
 一、 西大芦村掲示場

第七條 本會ノ事業年度ハ四月ヨリ翌年三月三十一日迄トス
 本會ハ會員名簿ヲ作製スルニテ之ヲ事務所ニ備フ
 會員名簿ノ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ會員ハ選擇ナク其ノ旨ヲ届
 ケ出ツバシ本會ノ會員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキ亦同シ
 會員名簿ノ訂正ヲ要スルトキハ會長ハ選擇ナク之ヲ訂正スバシ
 關係者ハ本會ノ事務所ニ於テ執務時内何時ニテモ會員名簿ノ閲覧
 ヲ求ムコトヲ得但シ本會ニ支障アルトキハ之ヲ拒絕スルコトアルベシ

第九條 本會ノ會員本會ノ地区内ニ居住セザル場合ニ於テハ代理人ヲ設クルコトヲ得
 代理人ヲ設ケタルトキハ其ノ氏名及住所ヲ届出ツバシ
 代理人ハ本會ノ地区内ニ居住スル會員タルコトヲ要ス





本會ハ農會ニ與スル一切事項ニ付代理人ニ對スル通知ヲ以テ本人ニ對スル
通知ニ代フ

第十條 本會ニ顧問ヲ置クコトヲ得
顧問ハ農業ニ功勞アルモ又ハ農業ニ與シ學識經驗アル者ヨリ總代会
ニ於テ之ヲ推薦ス
顧問ハ總代会ニ出席ニ意見ヲ述フルコトヲ得但シ決議權ヲ有セス
本會ニ左ノ役員ヲ置ク

第十一條 會長一名 副會長一名 評議員七名
役員ハ總代会ニ於テ會員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長ハ
會員以外ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ妨カス
役員ハ選任ハ單記投票ニヨリテ之ヲ行フ但シ總代会ノ議決ヲ經指名推
薦ヲ以テ投票ニ代フルコトヲ得

第十二條 役員ハ正當事由ナラシテ解任スルコトヲ得ス
第十三條 總代会ハ正當事由アルトキハ總代会ヲ組織スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ
得役員ヲ解任スルコトヲ得 役員ヲ解任シタル時ハ同時ニ補選ノ役員ヲ
選任スベシ

第十四條 役員中欠員ヲ生ジタルトキハ次ノ總代会會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り監
時總代会ニ於テ補欠ノ役員ヲ選任スベシ

第十五條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四ヶ年トス但シ再選ヲ妨カス
補選ノ員選任セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ残任期間トス

第十六條 役員ハ其ノ任期満了ニタルトキト雖モ後任者就任スルマデ仍其ノ職務ヲ
行フモノトス

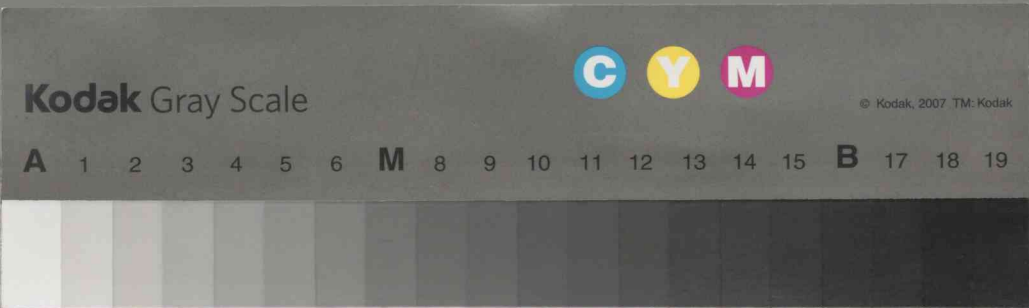




第十八條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス
 會長ハ總代會ノ議決ヲ經テキ事項ニシテ臨時急施ヲ要スニ總代會ヲ召集スルノ
 權ヲ有シ認ムルモノヲ專決スルコトヲ得
 前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總代會ニ於テ其ノ證認ヲホルコトヲ得
 第十九條 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス
 第二十條 評議會ハ會長ノ諮問ニ應ジ並會務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス
 會長ハ左ニ掲ケル事項ニ付テハ評議員ニ諮問スルヲ要ス
 一、總代會ニ提出スヘキ議案ニ關スル事項
 二、臨時總代會ノ召集ニ關スル事項
 三、寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項
 四、農會法第三十條第五項ニ依ル異議申立ノ決定ニ關スル事項
 第二十一條 役員ハ名譽職トス但シ總代會ノ議決ヲ經テ報酬ヲ給スルコトヲ得

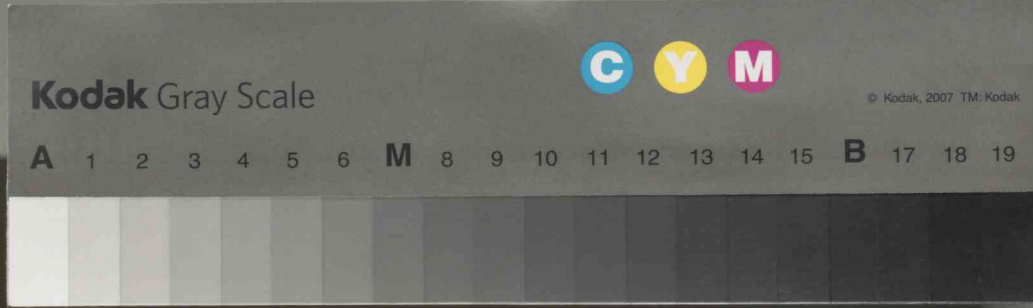
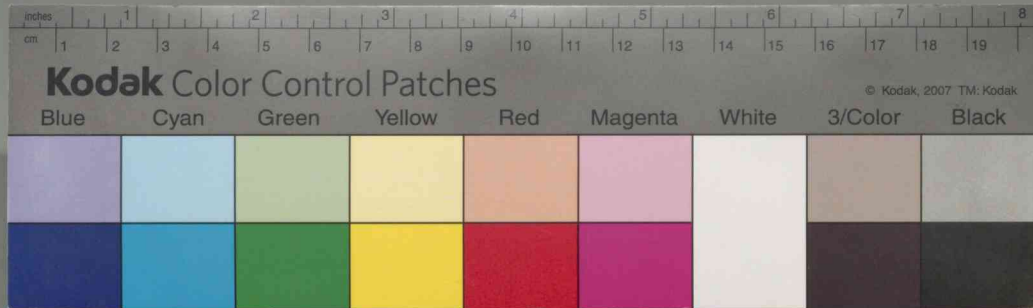
第三條 本會ハ總代會ヲ役員中ヨリ上郡賀那農會ノ議員及豫備議員各
 一人ヲ選任ス
 第十二條 第二項及第三項第十三條並第十四條ノ規定ハ前項ノ議員及予
 備議員ニ付テ第十五條ノ規定ハ前項ノ豫備議員ニ付テ之ヲ準用ス
 第三條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク
 幹事 二人 技手 三人 書記 一人
 幹事ハ會長ノ命ヲ受ケテ事務ヲ掌ル
 技手ハ會長ノ命ヲ受ケテ技術ニ從事ス
 書記ハ會長ノ命ヲ受ケテ事務ニ從事ス
 第三十條 職員ハ會長之ヲ任免ス
 第三十一條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス
 第三十二條 職員退職シタル時ハ退職給與金ヲ支給ス





退職給與金ニ関スル細則ハ總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
 第三條 本會ノ事業ニ關シ特別審議ヲ要スル場合ハ元女員會ヲ設クルコトヲ得
 委員ノ選任及解任委員會ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム
 第三條 本會ニ總代會ヲ置キ總會ニ代フ總代會ハ會長副會長及總代ヲ
 以テ之ヲ組織ス
 第三條 總代ノ定數ハ二十人トス
 第三條 總代ハ會中ヨリ之ヲ選舉ス
 總代中關愛ヲ生ジ共ニ關愛從代定數ノ三分ノ一ニ至リタルトキ又本會
 ニ於テ必要ト認ムルトキハ補選ノ總代ヲ選舉スベシ
 第三條 會長ハ選舉期前六十日ヲ期トシ其ノ日現在ニヨリ選舉人名簿ヲ
 調査スベシ
 會長ハ選舉期前四十日ヲ期トシ其ノ日ヨリ七日間毎日午前十時ヨリ
 午後四時迄本會ノ事務所於テ選舉人名簿ヲ閱檢スルニ供スベシ
 覽ノ日時ハ之ヲ公告ス
 選舉人名簿ニ關シ關係者ニ於テ異議アルトキハ縱覽期間後五日迄
 ニ之ヲ會長ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ會長ハ直ニ其ノ決定ヲナスベシ
 第三條 會長ハ選舉期前少クトモ七日間選舉會場投票ノ日時及選舉
 スベキ總代數ヲ公告ス
 第三條 總代ハ選舉會ハ會長之ヲ管理ス
 會長ハ會中ヨリ三人乃至四人ノ選舉立合人ヲ設クベシ
 第五條 選舉人名簿ニ登録セラレタル者ニ非サレバ選舉ヲ行フコトヲ得ズ
 第三條 選舉人名簿ニ無記名投票ヲ以テ之ヲ行フ
 投票ハ一人一票ニ限ル
 選舉人名簿ニ當リ投票時向内ニ白ヲ選舉會場ニ到リ投票ヲナスベシ





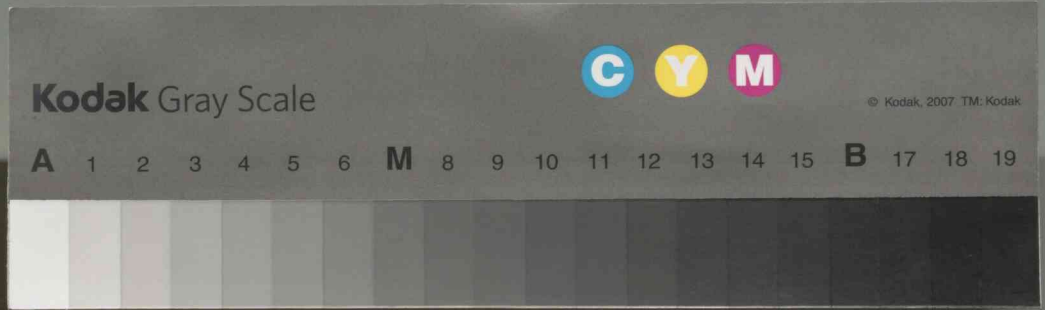
投票時間内ニ選舉會場ニ入りタル選舉人ハ其ノ時間ヲ過ルモ投票
ヲナスコトヲ得
選舉人ハ選舉會場ニ於テ投票用紙ニ白ラ被選舉人一人ノ氏名ヲ記
載シテ投票スヤシ
投票用紙ハ會長ノ定ル所ニ依リ一定式ヲ用ウヤシ
第三六條 未成年者及禁治産者ニ在リテハ法定代理人ニ於テ選舉ヲ行フヤシ
第九條ノ代理人ヲ設ケタル場合ニ於テハ會員ハ其ノ代理人ヲミテ選舉ヲ行ハ
ニムルコトヲ得
前項ノ代理人ハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ選舉管理員ニ提示スヤシ
第三七條 正規ノ用紙ヲ用ヒガレモノ
一 正規ノ用紙ヲ用ヒガレモノ
二 一投票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
三 被選舉人ノ何タルカヲ確認シ難キモノ
四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ 但シ對位職並自身分位所又
ハ敬稱ノ類ヲ記シタルモノハ此ノ限リニアラス
第三八條 投票ノ拒否及効力ハ選舉立合人ノ之ヲ決定ス可キ同数ナルトキハ選舉管理
員之ヲ決スヤシ
第三九條 總代ノ選舉ハ有効投票ノ数ヨリ得タル者ヲ以テ之ヲ當選トス但シ選
舉スルべき總代數ヲ以テ選舉人名簿ニ登録セラレタル人ノ數ヲ除キテ得
タル數ノ七分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス
前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同シキトキハ年上長者ヲ
取リ年令相同シキトキハ選舉管理員者抽籤ニシテ之ヲ定ム
第四〇條 選舉管理員者ハ選舉手録ヲ調劑スニテ選舉ノ顛本ヲ記載





第三條 選舉又ハ投票ヲ終リタル後之ヲ朗讀シ選舉立合人二人以上ト共ニ之ニ署名スベシ
 選舉録ハ投票選舉人名簿其他ノ關係書類ト共ニ選舉及當由選ノ効力確定スルニ至ルマデ之ヲ保存スベシ
 當選者定マリタル時ハ會長ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ通知スベシ
 當選者當選ヲ辭セトスルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ會長ニ届ケ出スベシ
 第四條 總代ノ當選ヲ辭シタルモノアルトキハ會長ハ直ニ之ヲ補フベキ當選者ヲ定ムベシ此ノ場合ニ於テハ第三十九條ノ規定ヲ準用ス
 第五條 第一項ノ期間ヲ經過シタル時ハ會長ハ直ニ當選者ノ住所氏名ヲ公告スベシ
 第六條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ生スル
 第七條 選舉ノ場合ニ限リ其選舉ノ全部又ハ一部ヲ無効トス
 第八條 選舉人選舉又ハ當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ選舉ノ期間ニテハ選舉ノ日ヨリ當選ノ期ニテハ第四十三條ノ公告ノ日ヨリ七日以内ニ會長ニ申立ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ會長ハ評議員ノ意見ヲ徵シ十四日以内ニ之ヲ決定スベシ
 第九條 當選無効ト確定シタルトキハ會長ハ直ニ第三十九條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムベシ
 第十條 選舉無効ト確定シタル時ハ更ニ選舉ヲ行フベシ總代ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フベシ此ノ場合ニ於テハ第三十九條ノ規定ヲ適用セシム
 第十一條 第十三條第十四條第十六條及第十七條ノ規定ハ總代ニ付之ヲ準用ス但シ第二項ノ總代ノ任期ハ大正十六年三月三十日迄トス





第廿八條 左ニ掲クル事項ハ總代會議決ヲ經ルモノトス
 一 收支豫算
 二 經費ノ分賦收入方法
 三 事業報告及收支決算
 四 借入金
 五 基本財産ノ造成管理及處分其他財産ノ處分ニ關スル事項
 六 會則ノ變更
 七 役員並ニ郡部農會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任
 八 農會法第三條第二項第三十四條第二項及第三十五條ノ同意
 九 訴訟及訴訟ニ關スル事項
 十 本則施行ニ關スル重要ナル諸細則ノ制定並ニ變更

第廿九條 總代會ハ通常總代會及臨時總代會ノ二種トス

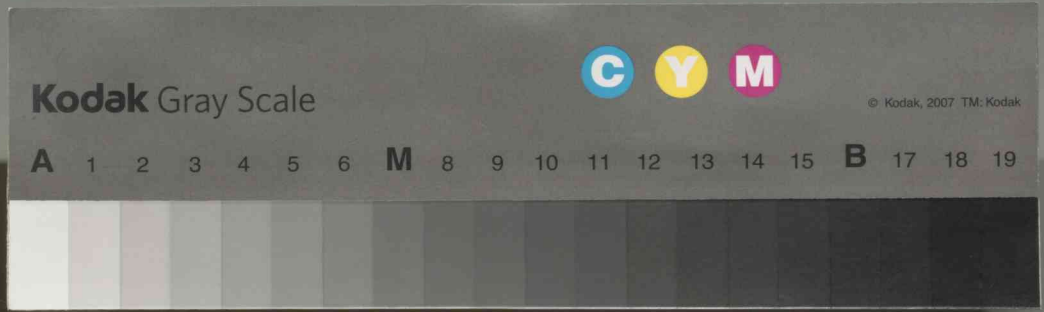
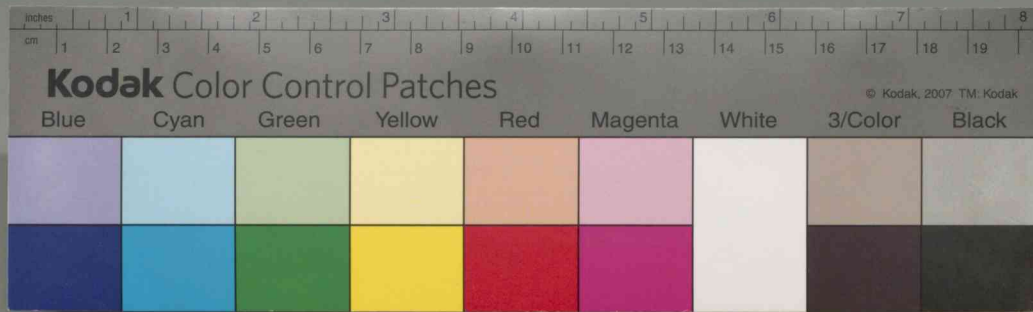
通常總代會ハ毎年回一月又ハ二月ニ之ヲ開ク
 臨時總代會ハ會長必要ト認ムルトキ又ハ農會法第三十一條第二項ノ
 規定ニ依ル請ホアリタル時之ヲ開ク

第卅條 總代會ヲ召集セントスル時ハ會長ハ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ會議
 ノ目的タル事項日時及場所ヲ總代會ヲ組織スル者ニ通知スバシ但シ
 通知スルコト能ハハル者ニ對シテハ公生ヲ以テ之ニ代フ

第卅一條 總代會議長ハ會長會長事故アルトキハ副會長之ニ當ル會長
 及副會長共ニ事故アルトキ又ハ農會法第三十一條第三項若ハ第四項
 ノ場合ニ於テハ出席者之ヲ互選ス

第卅二條 總代會議事ハ法令及本則ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外總代會ヲ組
 織スル者三分ノ以上出席シ出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキ
 議長ノ決スル所ニ依ル





但三同一事件ニミテ再招集ナラニタル時ハ此ノ限ニアラス

第五十條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ本則ニ規定アルモノヲ除ク外總代會ニ於テ之ヲ定ム

第五十一條 總代會ニ於テハ豫メ通知アリタル事項ヲ除ク外緊急ノ要アルモノ及輕微ナルモノニ付議事ヲ爲スコトヲ得

第五十二條 本會ノ經費ハ會員ノ負担トス

第五十三條 經費分賦收入方法ハ毎年總代會ニ於テ之ヲ定ム

第五十四條 本會ハ總代會ノ決議ヲ經物件ヲ以テ經費ノ負担ヲナシタルコトアルハシ

第五十五條 會員ニシテ其資格ヲ喪失シ又ハ其ノ資格ニ変更ヲ生ズルコトアルモ既ニ徴收シタル經費ハ之ヲ還附セザルモノトス

第五十六條 本會ハ左ニ掲タル事項ニ付使用料手数料又ハ実費ノ辨償ヲ受クルコトアルハシ

一 農産物ノ販賣斡旋

二 農具ノ使用

三 設計評價鑑定

第五十七條 使用料手数料及実費辨償ニ關スル細則ハ總代會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

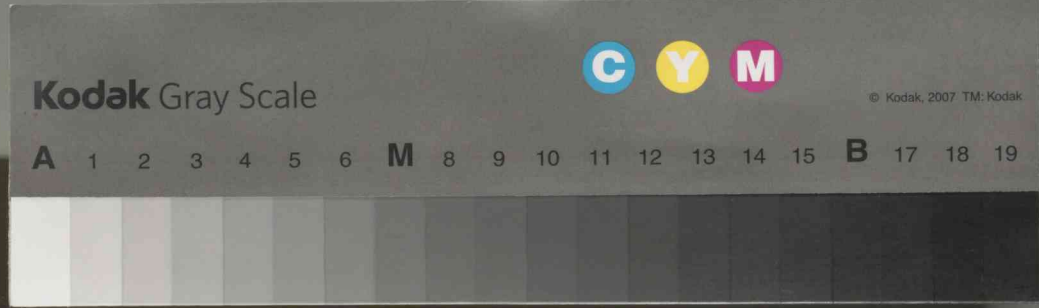
第五十八條 經費使用料手数料又ハ実費辨償金ヲ滞納スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

前項ノ督促ヲ受ケ指定期限迄ニ之ヲ完納セザルトキハ滞納金額ノ十分ノ二以テ過怠金ヲ課ス

經費又ハ過怠金ヲ完納セザル者アルトキハ會長ハ評議員ノ意見ヲ徴シ農會法第三十條第三項ノ手續ヲナスコトヲ得

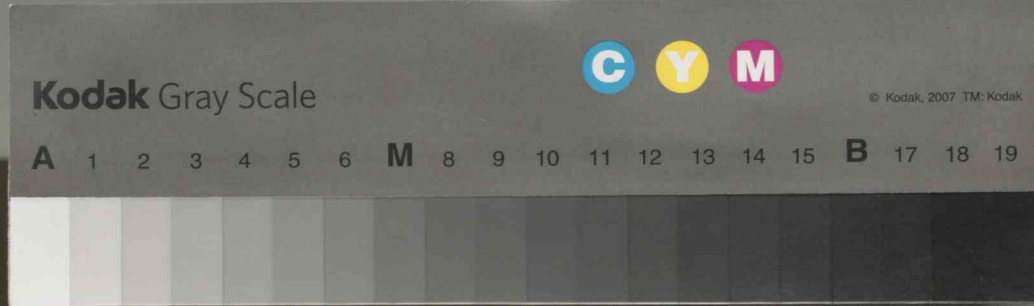
第五十九條 本會ハ會員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得





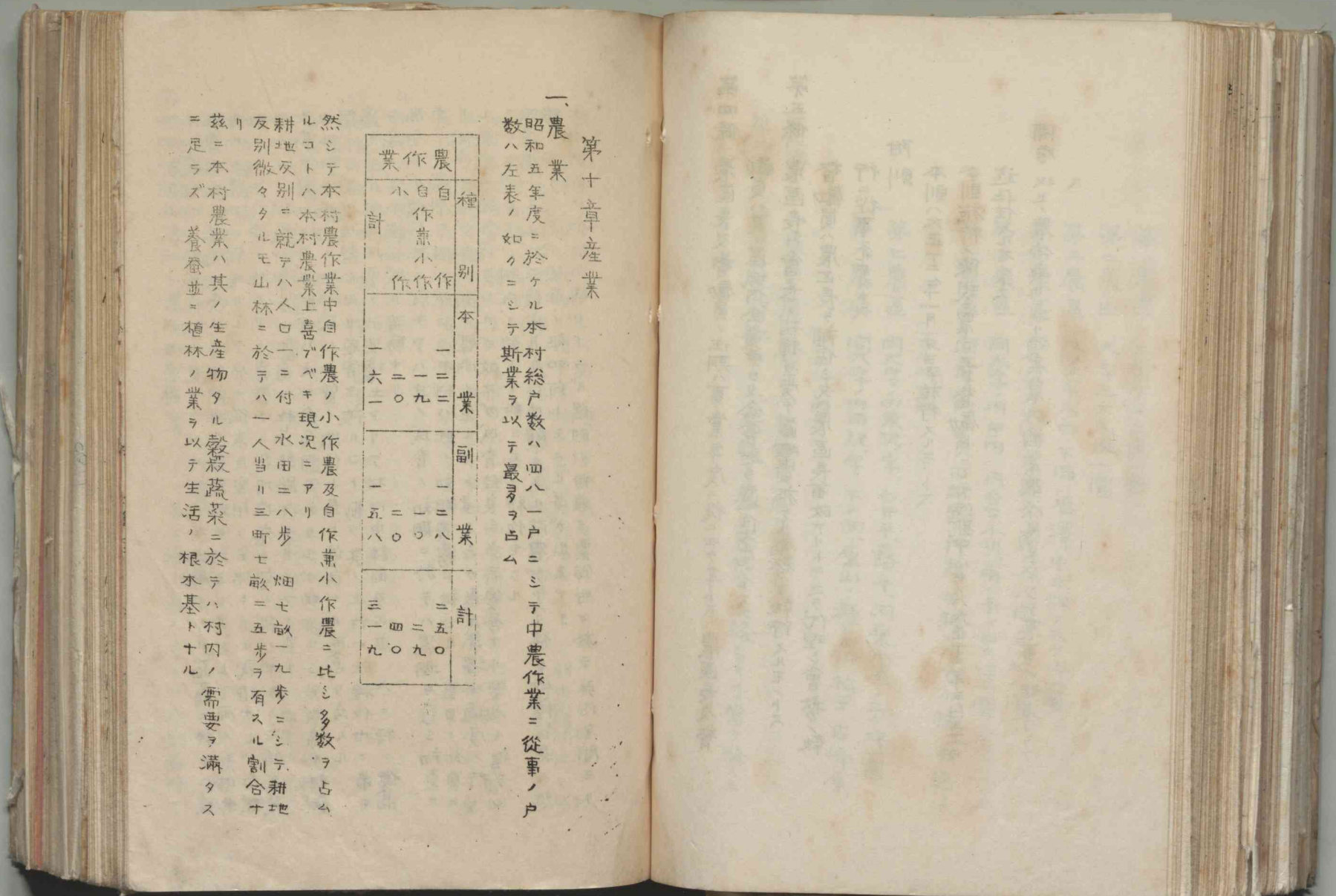
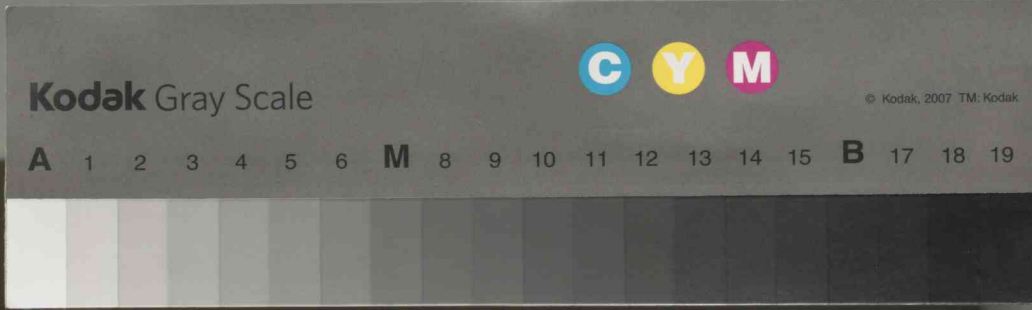
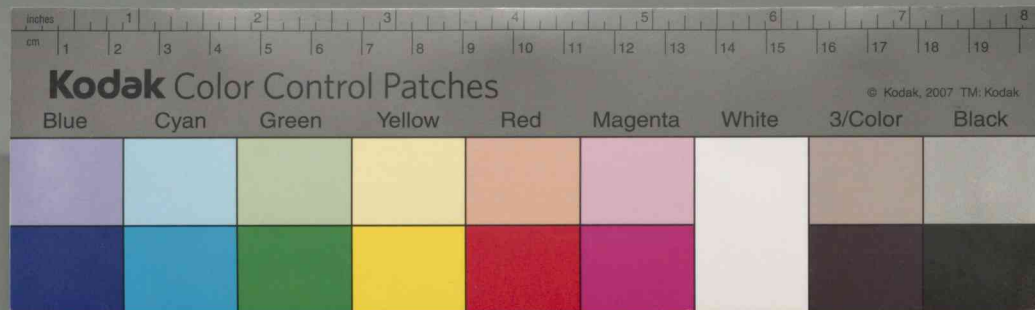
第三條 本會ハ基本財産ヲ設ケ
 特定ノ目的ヲキテ附テ設ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス
 基本財産ハ總代會ニ於テ定メタル方法ニ依リテ之ヲ造成シ管理處分ス
 第六條 會長ハ主任ヲ定メテ會務ヲ処理セシム
 第七條 本會ニハ左ノ帳簿ヲ備フ
 一 會員名簿
 二 財産台帳
 三 出納簿
 四 豫算差引簿
 五 經費徴收簿
 第八條 本會ノ出納閉鎖期ハ翌年度五月三十一日トス
 第九條 剰餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入予算ニ編入ス
 第十條 庶務及會計ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム
 第十一條 會則ノ變更ハ總代會ニ於テ之ヲ組織スル者半数以上出席シ出席者ノ
 三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ
 附則
 本會ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
 従来ノ會則ハ之ヲ廢止ス
 本則施行ノ際現ニ幹事技術員スハ書記タルモノハ本則ノ規定ニヨリ
 幹事技術員又ハ書記タルモノトス
 第十二條 本會々則第五條ヨリ本會區域内ニ左ノ農區ヲ置クモノトス





第一農區 大字下久保一團
 第二農區 大字上久保一團
 第三農區 大字草久内下田 塩澤中之畑ノ三ヶ坪一團
 第四農區 大字草久内小鹿入 鹿ノ入八田ノ三ヶ坪一團
 第五農區 同大字内中内 内倉小川 兩ノ手ノ四ヶ坪一團
 第六農區 同大字内 字 古越路 押越半繩 落合小松 馬込ノ六ヶ坪一團
 第七農區 同大字内東沢字 白井平 路平 河原小屋ノ三ヶ坪一團
 第八農區 同大字内西沢字 下ノ向 原山 龍ヶ花 松手 古峰原ノ五ヶ坪一團
 第二條 各農區ニ農區長一名 督勵員一名ヲ置クモノトス
 第三條 農區長及督勵員ハ名譽職トス 但シ総代会ノ決議ヨリ手當ヲ給スルコトヲ得
 第四條 農區長及督勵員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四ヶ年トス 農區長及督勵員ハ其ノ区域内會員中ヨリ會長之ヲ選任スルモノトス
 第五條 農區長ハ會長ノ指揮ヲ受ケ区域内ニ於ケル會務ヲ執行スルモノトス 督勵員ハ農區長ヲ補佐シ又ハ農區長事故アルトキ之ヲ代理シ會務ノ執行ニ從事スルモノトス
 附則
 本則ハ大正十二年一月ヨリ施行スルモノトス
 本則施行ノ際現ニ農區長督勵員ニシテ任期中ノモノハ大正十二年三月三十一日迄在任スルモノトス
 備考 以上ノ農會廢止ニヨリ現在ハ本村 勸業課 係員ニトシテ農事ノ指導ヲ行ハス





第十章 産業

昭和五年度ニ於ケル本村総戸数ハ四八一戸ニシテ中農作業ニ従事ノ戸数ハ左表ノ如クニシテ

種別	計	
	自作	小作
本業	一〇九	一〇九
副業	一〇	一〇
計	一二〇	一二〇

然シテ本村農作業中自作農ノ小作農及自作兼小作農ニ比シ多数ヲ占ムルコトハ本村農業上喜ガベキ現況ニアリ
耕地別ニ就テハ人口ニ付水田ニハ歩畑七畝一歩ニシテ耕地反別々タルモ山林ニ於テハ一人当リ三畝ニ五歩ヲ有スル割合ナ
茲ニ本村農業ハ其ノ生産物タル穀類蔬菜ニ於テハ村内ノ需要ヲ満たス
= 足ラズ 養蚕並ニ植林ノ業ヲ以テ生活ノ根柢トナル

